

# 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
7.1 製品実現の計画 組織は、製品実現のために必要なプロセスを計画して、構築すること。		RM	能力1： 各プロジェクトに対し、システム要件を分析し、それらをハードウェア、ソフトウェア、および他のシステムコンポーネントに割り当てる責任が確立される。	組織は、製品実現のために必要なプロセスを計画して、構築すること。  構築にあたっては、次の事項を実施する。  1) 各プロジェクトに対し、システム要件を分析し、それらをハードウェア、ソフトウェア、および他のシステムコンポーネントに割り当てる責任を確立する。 2) ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。 3) ソフトウェアプロジェクトに関して、文書化され承認された作業内容記述書を残す。 4) ソフトウェア開発計画策定の責任を割り当てる。 5) ソフトウェアエンジニアリンググループは、プロジェクト提案チームに参加する。 6) ソフトウェアプロジェクト計画の策定は、プロジェクト全体計画の早期段階から、かつ並行して開始する。 7) ソフトウェアエンジニアリンググループは、他の影響を受けるグループとともに、プロジェクトの全期間にわたってプロジェクト全体計画に参加する。 8) 上級管理層は、組織外の個人とグループに対してなされたソフトウェアプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。 9) プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って策定する。 10) ソフトウェアプロジェクト計画を文書化する。 11) ソフトウェアプロジェクトの制御を確立し維持するために必要なソフトウェア作業成果物を特定する。 12) 外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。 13) ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成する。 14) SQAグループの活動は、SQA計画に従って実施する。 15) プロジェクトのソフトウェアベースラインの管理権限を持つ委員会（ソフトウェア構成制御委員会：Software Configuration Control Board = SCCB）を確立する。
		RM	活動2： ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	
		SPP	能力1： ソフトウェアプロジェクトに関して、文書化され承認された作業内容記述書が存在する。	
		SPP	能力2： ソフトウェア開発計画策定の責任が割り当てられている。	
		SPP	活動1： ソフトウェアエンジニアリンググループは、プロジェクト提案チームに参加する。	
		SPP	活動2： ソフトウェアプロジェクト計画の策定は、プロジェクト全体計画の早期段階から、かつ並行して開始する。	
		SPP	活動3： ソフトウェアエンジニアリンググループは、他の影響を受けるグループとともに、プロジェクトの全期間にわたってプロジェクト全体計画に参加する。	
		SPP	活動4： 上級管理層は、組織外の個人とグループに対してなされたソフトウェアプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。	
		SPP	活動6： プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って策定する。	
		SPP	活動7： ソフトウェアプロジェクト計画を文書化する。	
		SPP	活動8： ソフトウェアプロジェクトの制御を確立し維持するために必要なソフトウェア作業成果物を特定する。	
		SSM	活動1： 外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。	
		SQA	活動1： ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成する。	
		SQA	活動2： SQAグループの活動は、SQA計画に従って実施する。	
		SCM	能力1： プロジェクトのソフトウェアベースラインの管理権限を持つ委員会（ソフトウェア構成制御委員会：Software Configuration Control Board = SCCB）が存在するか、あるいは確立される。	
製品実現の計画は、品質マネジメントシステムのその他のプロセスの要求事項と整合性がとれていること（4.1参照）。				製品実現の計画は、品質マネジメントシステムのその他のプロセスの要求事項と整合性がとれていること（4.1参照）。
製品実現の計画に当たっては、組織は次の事項について該当するものを明確にすること。				製品実現の計画に当たっては、組織は次の事項について該当するものを明確にすること。
a) 製品に対する品質目標及び要求事項				a) 製品に対する品質目標及び要求事項
b) 製品に特有な、プロセス及び文書の確立の必要性、並びに資源の提供の必要性		SPP	能力3： ソフトウェアプロジェクトを計画するために、適切な資源と資金が提供される。	b) 製品に特有な、プロセス及び文書の確立の必要性、並びに資源と資金の提供の必要性、プロジェクトのソフトウェアエンジニアリング設備および支援ツールに関する計画
		SPP	活動1 4： プロジェクトのソフトウェアエンジニアリング設備および支援ツールに関する計画を策定する。	
c) その製品のための検証、妥当性確認、監視、検査及び試験活動、並びに製品合否判定基準				c) その製品のための検証、妥当性確認、監視、検査及び試験活動、並びに製品合否判定基準
d) 製品実現のプロセス及びその結果としての製品が要求事項を満たしていることを実証するために必要な記録（4.2.4参照）		SPP	活動1 5： ソフトウェア計画策定に関するデータを記録する。	d) 製品実現のプロセス及びその結果としての製品が要求事項を満たしていることを実証するために必要な記録（4.2.4参照）、ソフトウェア計画策定に関するデータ
この計画のアウトプットは、組織の計画の実行に適した様式であること。				この計画のアウトプットは、組織の計画の実行に適した様式であること。
参考1. 特定の製品、プロジェクト又は契約に適用される品質マネジメントシステムのプロセス（製品実現のプロセスを含む。）及び資源を規定する文書を品質計画書と呼ぶことがある。				参考1. 特定の製品、プロジェクト又は契約に適用される品質マネジメントシステムのプロセス（製品実現のプロセスを含む。）及び資源を規定する文書を品質計画書と呼ぶことがある。
2. 組織は、製品実現のプロセスの構築に当たって7.3に規定する要求事項を適用してもよい。				2. 組織は、製品実現のプロセスの構築に当たって7.3に規定する要求事項を適用してもよい。

# 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
<b>7.2.1 製品に関連する要求事項の明確化</b>				
組織は、次の事項を明確にすること。		RM	能力 2： 割り当てられた要件が文書化される。	組織は、次の事項を明確にし、文書化する。
a) 顧客が規定した要求事項。これには引渡し及び引渡し後の活動に関する要求事項を含む。				a) 顧客が規定した要求事項。これには引渡し及び引渡し後の活動に関する要求事項を含む。
b) 顧客が明示していないが、指定された用途又は意図された用途が既知である場合、それらの用途に応じた要求事項				b) 顧客が明示していないが、指定された用途又は意図された用途が既知である場合、それらの用途に応じた要求事項
c) 製品に関連する法令・規制要求事項				c) 製品に関連する法令・規制要求事項
d) 組織が必要と判断する追加要求事項				d) 組織が必要と判断する追加要求事項
<b>7.2.2 製品に関連する要求事項のレビュー</b>				
組織は、製品に関連する要求事項をレビューすること。				組織は、製品に関連する要求事項をレビューすること。
このレビューは、組織が顧客に製品を提供することについてのコミットメント（例 提案書の提出、契約又は注文の受諾、契約又は注文への変更の受諾）をする前に実施すること。		RM	活動 1： ソフトウェアエンジニアリンググループは、割り当てられた要件がソフトウェアプロジェクトに組み込まれる前の段階でレビューする。	このレビューは、ソフトウェアエンジニアリンググループが顧客に製品を提供することについてのコミットメント（例 提案書の提出、契約又は注文の受諾、契約又は注文への変更の受諾）をする前に実施すること。 割り当てられた要件への変更をレビューし、ソフトウェアプロジェクトに組み込む。 SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。
		RM	活動 3： 割り当てられた要件への変更をレビューし、ソフトウェアプロジェクトに組み込む。	
		SQA	活動 8： SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。	
レビューでは次の事項を確実にすること。				レビューでは次の事項を確実にすること。
a) 製品要求事項が定められている。				a) 製品要求事項が定められている。
b) 契約又は注文の要求事項が以前に提示されたものと異なる場合には、それについて解決されている。				b) 契約又は注文の要求事項が以前に提示されたものと異なる場合には、それについて解決されている。
c) 組織が、定められた要求事項を満たす能力をもっている。				c) 組織が、定められた要求事項を満たす能力をもっている。
このレビューの結果の記録及びそのレビューを受けてとられた処置の記録を維持すること（4.2.4参照）。				このレビューの結果の記録及びそのレビューを受けてとられた処置の記録を維持すること（4.2.4参照）。
顧客がその要求事項を書面で示さない場合には、組織は顧客要求事項を受諾する前に確認すること。				顧客がその要求事項を書面で示さない場合には、組織は顧客要求事項を受諾する前に確認すること。
製品要求事項が変更された場合には、組織は、関連する文書を修正すること。また、変更後の要求事項が関連する要員に理解されていることを確実にすること。				製品要求事項が変更された場合には、組織は、関連する文書を修正すること。また、変更後の要求事項が関連する要員に理解されていることを確実にすること。
参考 インターネット販売などの状況では、個別の注文に対する正式なレビューの実施は非現実的である。このような場合のレビューでは、カタログや宣伝広告資料などの関連する製品情報をその対象とすることもできる。				参考 インターネット販売などの状況では、個別の注文に対する正式なレビューの実施は非現実的である。このような場合のレビューでは、カタログや宣伝広告資料などの関連する製品情報をその対象とすることもできる。
<b>7.2.3 顧客とのコミュニケーション</b>				
組織は、次の事項に関して顧客とのコミュニケーションを図るための効果的な方法を明確にし、実施すること。				組織は、次の事項に関して顧客とのコミュニケーションを図るための効果的な方法を明確にし、実施すること。
a) 製品情報				a) 製品情報
b) 引き合い、契約若しくは注文、又はそれらの変更		SQA	活動 8： SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。	b) 引き合い、契約若しくは注文、又はそれらの変更及び、SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。
c) 苦情を含む顧客からのフィードバック				c) 苦情を含む顧客からのフィードバック
<b>7.3.1 設計・開発の計画</b>				
組織は、製品の設計・開発の計画を策定し、管理すること。		RM	活動 2： ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	組織は、製品の設計・開発の計画として文書化された手順に従って、プロジェクト計画書を策定し、管理すること。また、プロジェクト計画書は承認されていること。 ソフトウェアエンジニアリンググループは、プロジェクト提案チームに参加し、他の影響を受けるグループとともに、プロジェクトの全期間にわたってプロジェクト全体計画に参加する。また、プロジェクト計画書の策定はプロジェクト全体計画の早期段階から、かつ並行して開始し、その際、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。
		SPP	活動 1： ソフトウェアエンジニアリンググループは、プロジェクト提案チームに参加する。	
		SPP	活動 2： ソフトウェアプロジェクト計画の策定は、プロジェクト全体計画の早期段階から、かつ並行して開始する。	
		SPP	活動 3： ソフトウェアエンジニアリンググループは、他の影響を受けるグループとともに、プロジェクトの全期間にわたってプロジェクト全体計画に参加する。	
		SPP	活動 6： プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って策定する。	
		SPP	活動 7： ソフトウェアプロジェクト計画を文書化する。	
		SPP	活動 8： ソフトウェアプロジェクトの制御を確立し維持するために必要なソフトウェア作業成果物を特定する。	計画では、ソフトウェアプロジェクトの制御を確立し維持するために必要なソフトウェア作業成果物を特定すること。

付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
		SPP	活動 9 : ソフトウェア作業成果物の規模（またはソフトウェア作業成果物の変更規模）の見積りは、文書化された手順に従って算出する。	さらに計画には、文書化された手順により策定した、以下の項目について含めること。 1)ソフトウェア作業成果物の規模（またはソフトウェア作業成果物の変更規模）の見積り 2)ソフトウェアプロジェクトの工数とコストの見積り 3)プロジェクトの重要なコンピュータ資源の見積り 4)プロジェクトのソフトウェアスケジュール 5)ソフトウェアエンジニアリング技術活動 6) プロジェクトのコスト、資源、スケジュール、および技術面にかかわるソフトウェアのリスク、アセスメント結果 7) プロジェクトのソフトウェアエンジニアリング設備および支援ツールに関する計画
		SPP	活動 1 0 : ソフトウェアプロジェクトの工数とコストの見積りは、文書化された手順に従って算出する。	また、ソフトウェア活動の進捗を確認し状況を伝達するためにソフトウェア開発計画を使用し、計画時に策定した上記項目の1)～5)について進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。また、6)について状況を確認すること。
		SPP	活動 1 1 : プロジェクトの重要なコンピュータ資源の見積りは、文書化された手順に従って算出する。	
		SPP	活動 1 2 : プロジェクトのソフトウェアスケジュールは、文書化された手順に従って策定する。	
		SPP	活動 1 3 : プロジェクトのコスト、資源、スケジュール、および技術面にかかわるソフトウェアのリスクを特定し、アセスメントし、そして文書化する。	
		SPP	活動 1 4 : プロジェクトのソフトウェアエンジニアリング設備および支援ツールに関する計画を策定する。	
		SPT0	能力 1 : ソフトウェアプロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化され承認されている。	
		SPT0	活動 1 : ソフトウェア活動の進捗を確認し状況を伝達するために、文書化されたソフトウェア開発計画を使用する。	
		SPT0	活動 5 : ソフトウェア作業成果物の規模（あるいはその変更規模）についての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	
		SPT0	活動 6 : プロジェクトのソフトウェア工数とコストについての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	
		SPT0	活動 7 : プロジェクトの重要なコンピュータ資源の進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	
		SPT0	活動 8 : プロジェクトのソフトウェアスケジュールについての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	
		SPT0	活動 9 : ソフトウェアエンジニアリング技術活動の進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	
		SPT0	活動 1 0 : プロジェクトのコスト、資源、スケジュール、および技術面に関するソフトウェアリスクを確認する。	
		SQA	活動 1 : ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成する。	ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成し、SQAグループの活動は、SQA計画に従って実施する。
		SQA	活動 2 : SQAグループの活動は、SQA計画に従って実施する。	
設計・開発の計画において、組織は次の事項を明確にすること。				設計・開発の計画において、組織は次の事項を明確にすること。
a) 設計・開発の段階		SPP	活動 5 : あらかじめ定義された管理可能な大きさのステージを持つソフトウェアライフサイクルを特定または定義する。	a) 設計・開発の段階 (あらかじめ定義された管理可能な大きさのステージを持つソフトウェアライフサイクルの特定または定義)
b) 設計・開発の各段階に適したレビュー、検証及び妥当性確認		SPT0	活動 1 2 : ソフトウェアエンジニアリンググループは定期的に内部レビューを行い、技術面での進展、計画、実績、および課題をソフトウェア開発計画に照らして進捗を確認する。	b) 設計・開発の各段階に適したレビュー、検証及び妥当性確認  レビューには以下のものを含む。 1)技術面での進展、計画、実績、および課題をソフトウェア開発計画に照らして進捗を確認するための定期的な内部レビュー 2)ソフトウェアプロジェクトの成果と結果を上げるために選定されたプロジェクトのマイルストーンで開催する公式レビュー  また、SQAグループは、プロジェクトのソフトウェア開発計画、標準、および手順の作成とレビューに参加する。
		SPT0	活動 1 3 : ソフトウェアプロジェクトの成果と結果を取り上げるための公式レビューは、文書化された手順に従って、選定されたプロジェクトのマイルストーンで開催する。	
		SQA	活動 3 : SQAグループは、プロジェクトのソフトウェア開発計画、標準、および手順の作成とレビューに参加する。	

# 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
c) 設計・開発に関する責任及び権限		SPP	能力 2 : ソフトウェア開発計画策定の責任が割り当てられている。	c) 設計・開発に関する責任及び権限 責任及び権限には以下のものを含む。 1)ソフトウェア開発計画策定の責任 2)ソフトウェア作業成果物および活動に対する責任
		SPT0	能力 2 : プロジェクトソフトウェアマネージャは、ソフトウェア作業成果物および活動に対する責任を明示的に割り当てている。	また、プロジェクトには、以下について責任を持つグループが存在する。 1)SQAの調整と履行に責任を持つグループ (SQAグループ) 2)S C Mの調整と実装に責任を持つグループ (S C Mグループ)
		SQA	能力 1 : プロジェクトには、SQAの調整と履行に責任を持つグループ (SQAグループ) が存在する。	
		SCM	能力 2 : プロジェクトには、S C Mの調整と実装に責任を持つグループ (S C Mグループ) が存在する。	
組織は、効果的なコミュニケーションと責任の明確な割当てとを確実にするために、設計・開発に参与するグループ間のインタフェースを運営管理すること。		SPP	活動 4 : 上級管理層は、組織外の個人とグループに対してなされたソフトウェアプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。	組織は、効果的なコミュニケーションと責任の明確な割当てとを確実にするために、設計・開発に参与するグループ間のインタフェースを運営管理すること。 上級管理層は、組織外のグループと個人に対するソフトウェアプロジェクトのコミットメントおよびコミットメントに対する変更を、文書化された手順に従ってレビューすること。 承認されたコミットメントの変更がソフトウェアプロジェクトに影響をおよぼす場合、その変更をソフトウェアエンジニアリンググループおよび他のソフトウェア関連グループメンバーに伝達すること。
		SPT0	活動 3 : 上級管理層は、組織外のグループと個人に対するソフトウェアプロジェクトのコミットメントおよびコミットメントに対する変更を、文書化された手順に従ってレビューする。	
		SPT0	活動 4 : 承認されたコミットメントの変更がソフトウェアプロジェクトに影響をおよぼす場合、その変更をソフトウェアエンジニアリンググループおよび他のソフトウェア関連グループメンバーに伝達する。	
		SSM	活動 7 : 発注元の管理層は、外注先の管理層とともに定期的な状況 / 調整レビューを開催する。	グループ間のインタフェースとして以下のことを行うこと。 1)発注元の管理層は、外注先の管理層とともに定期的な状況 / 調整レビューを開催する。 2)ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。
		SSM	活動 8 : ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。	3)外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催する。 4)SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。
		SSM	活動 9 : 外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催する。	
		SQA	活動 8 : SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。	
設計・開発の進行に応じて、策定した計画を適宜更新すること。		SPT0	活動 2 : プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って改訂する。	設計・開発の進行に応じて、策定した計画を適宜文書化された手順に従って更新すること。
7.3.2 設計・開発へのインプット				
製品要求事項に関連するインプットを明確にし、記録を維持すること (4.2.4参照)。インプットには次の事項を含めること		SQA	活動 8 : SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。	製品要求事項に関連するインプットを明確にし、記録を維持すること (4.2.4参照)。インプットには次のa) - d) 事項を含めること。 インプット情報を明確にする段階に合せて、SQAの活動についても 1) のとおりに確認を実施する。 1)SQAグループが実施する品質保証活動の計画、体制を確認する。
a) 機能及び性能に関する要求事項		RM	活動 2 : ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	a)機能及び性能に関する要求事項およびソフトウェアとして割り当てられた要件
b) 適用される法令・規制要求事項				b)適用される法令・規制要求事項
c) 適用可能な場合は、以前の類似した設計から得られた情報				c)適用可能な場合は、以前の類似した設計から得られた情報
d) 設計・開発に不可欠なその他の要求事項				d)設計・開発に不可欠なその他の要求事項
これらのインプットについては、その適切性をレビューすること。要求事項は、漏れがなく、あいまい (曖昧) ではなく、かつ、相反することがないこと。		RM	活動 1 : ソフトウェアエンジニアリンググループは、割り当てられた要件がソフトウェアプロジェクトに組み込まれる前の段階でレビューする。	これらのインプットについては、その適切性をレビューすること。要求事項は、漏れがなく、あいまい (曖昧) ではなく、かつ、相反することがないこと。ソフトウェアの設計・開発実施前にレビューする。
7.3.3 設計・開発からのアウトプット				
設計・開発へのアウトプットは、設計・開発からのインプットと対比した検証ができるような様式で提示されること。また、次の段階に進める前に、承認を受けること。				設計・開発へのアウトプットは、設計・開発からのインプットと対比した検証ができるような様式で提示されること。また、次の段階に進める前に、承認を受けること。
設計・開発からのアウトプットは、次の状態であること。				設計・開発からのアウトプットは、次の状態であること。
a) 設計・開発へのインプットで与えられた要求事項を満たす。				a) 設計・開発へのインプットで与えられた要求事項を満たす。
b)購買、製造及びサービス提供に対して適切な情報を提供する。				b)購買、製造及びサービス提供に対して適切な情報を提供する。
c)製品の合否判定基準を含むか又はそれを参照している。				c)製品の合否判定基準を含むか又はそれを参照している。
d)安全な使用及び適正な使用に不可欠な製品の特性を明確にする。				d)安全な使用及び適正な使用に不可欠な製品の特性を明確にする。

# 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
7.3.4 設計・開発のレビュー 設計・開発の適切な段階において、次の事項を目的として、計画されたとおりに（7.3.1参照）体系的なレビューを行うこと。		SPP	活動4： 上級管理層は、組織外の個人とグループに対してなされたソフトウェアプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。	設計・開発の適切な段階において、ソフトウェアプロジェクトの成果と結果を取り上げるための公式レビューは、文書化された手順に従って、選定されたプロジェクトのマイルストーンで計画されたとおりに（7.3.1参照）開催する。次のa)～b)事項を目的として、1)～5)を実施し、体系的なレビューを行うこと。 1)ソフトウェアプロジェクトのコミットメント（スケジュール、プロジェクト体制、品質計画、プロセス、設計・開発のレビュー、検証、妥当性の確認など）を手順書、チェックリストに従ってレビューする 2)ソフトウェアプロジェクトのコミットメントに対する変更を手順書、チェックリストに従ってレビューする。 3)ソフトウェア開発の進捗状況（対象：技術面での進展、計画、実績、課題）をソフトウェア開発計画と比較して定期的にレビューする。 4)ソフトウェアの外注先に対して外注先の管理層とともにソフトウェア開発の進捗状況（対象：計画、実績、課題、調整事項）を外注先に提示したソフトウェア開発計画と比較して定期的にレビューする。 5)ソフトウェアの外注先に対してソフトウェア開発の技術レビューと情報交換を定期的に実施する。 6)SOAグループは、指定されたソフトウェア作業成果物を監査し、その遵守状況を確認する。逸脱事項を特定し、文書化し、その決着まで進捗を確認する。修正内容を検証する。 7)ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱う。
		SPT0	活動3： 上級管理層は、組織外のグループと個人に対するソフトウェアプロジェクトのコミットメントおよびコミットメントに対する変更を、文書化された手順に従ってレビューする。	
		SPT0	活動12： ソフトウェアエンジニアリンググループは定期的に内部レビューを行い、技術面での進展、計画、実績、および課題をソフトウェア開発計画に照らして進捗を確認する。	
		SPT0	活動13： ソフトウェアプロジェクトの成果と結果を取り上げるための公式レビューは、文書化された手順に従って、選定されたプロジェクトのマイルストーンで開催する。	
		SSM	活動7： 発注元の管理層は、外注先の管理層とともに定期的な状況/調整レビューを開催する。	
		SSM	活動8： ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。	
		SSM	活動9： 外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催する。	
		SOA	活動5： SOAグループは、指定されたソフトウェア作業成果物を監査し、その遵守状況を検証する。	
		SOA	活動7： ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱う。	
a) 設計・開発の結果が要求事項を満たせるかどうかを評価する。		SPT0	活動12： ソフトウェアエンジニアリンググループは定期的に内部レビューを行い、技術面での進展、計画、実績、および課題をソフトウェア開発計画に照らして進捗を確認する。	a) 設計・開発の結果が要求事項を満たせるかどうかを評価する。
		SSM	活動8： ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。	
b) 問題を明確にし、必要な処置を提案する。				b) 問題を明確にし、必要な処置を提案する。
レビューへの参加者として、レビューの対象となっている設計・開発段階に関連する部門の代表が含まれていること。このレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。				レビューへの参加者として、レビューの対象となっている設計・開発段階に関連する部門の代表が含まれていること。このレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。
7.3.5 設計・開発の検証				
設計・開発からのアウトプットが、設計・開発へのインプットで与えられている要求事項を満たしていることを確実にするために、計画されたとおりに（7.3.1参照）検証を実施すること。		SOA	活動5： SOAグループは、指定されたソフトウェア作業成果物を監査し、その遵守状況を検証する。	設計・開発からのアウトプットが、設計・開発へのインプットで与えられている要求事項を満たしていることを確実にするために、計画されたとおりに（7.3.1参照）検証を実施すること。及び、SOAグループは、指定されたソフトウェア作業成果物を監査し、その遵守状況を検証する。 ソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱う。 この文書化した結果及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。
この検証の結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。		SOA	活動7： ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱う。	
7.3.6 設計・開発の妥当性確認				
結果として得られる製品が、指定された用途又は意図された用途に応じた要求事項を満たし得ることを確実にするために、計画した方法（7.3.1参照）に従って、設計・開発の妥当性確認を実施すること。				結果として得られる製品が、指定された用途又は意図された用途に応じた要求事項を満たし得ることを確実にするために、計画した方法（7.3.1参照）に従って、設計・開発の妥当性確認を実施すること。 実行可能な場合にはいつでも、製品の引渡し又は提供の前に、妥当性確認を完了すること。 妥当性確認の結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。
実行可能な場合にはいつでも、製品の引渡し又は提供の前に、妥当性確認を完了すること。				
妥当性確認の結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。				
7.3.7 設計・開発の変更管理				
設計・開発の変更を明確にし、記録を維持すること。				設計・開発の変更を明確にし、記録を維持すること。
変更に対して、レビュー、検証及び妥当性確認を適宜行い、その変更を実施する前に承認すること。		SCM	活動5： すべての構成アイテム/ユニットの変更要求や問題報告は、文書化された手順に従って発行し、記録し、レビューし、承認し、そして進捗を確認する。	変更に対して、すべての構成アイテム/ユニットの変更要求や問題報告は、文書化された手順に従って発行し、記録し、レビュー、検証及び妥当性確認を適宜行い、その変更を実施する前に承認すること。 また、ベースラインの変更は、文書化された手順に従って制御する。
		SCM	活動6： ベースラインの変更は、文書化された手順に従って制御する。	
設計・開発の変更のレビューには、その変更が、製品を構成する要素及び既に引き渡されている製品に及ぼす影響の評価を含めること。				設計・開発の変更のレビューには、その変更が、製品を構成する要素及び既に引き渡されている製品に及ぼす影響の評価を含めること。 変更のレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。 参考"変更のレビュー"とは、変更に対して適宜行われたレビュー、検証及び妥当性確認のことである。
変更のレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること（4.2.4参照）。				
参考"変更のレビュー"とは、変更に対して適宜行われたレビュー、検証及び妥当性確認のことである。				

# 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
7.4.1 購買プロセス 組織は、規定された購買要求事項に、購買製品が適合することを確実にすること。		SSM	活動1： 外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。	組織は、規定された購買要求事項に、購買製品が適合することを確実にすること。 確実にするために以下のことを実施する。
		SSM	活動3： 発注元とソフトウェア外注先との間の契約合意を、外注管理の基盤とする。	1)外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。 2)発注元とソフトウェア外注先との間の契約合意を、外注管理の基盤とする。
		SSM	活動4： 文書化された外注先のソフトウェア開発計画について、発注元がレビューし承認する。	3)文書化された外注先のソフトウェア開発契約について、発注元がレビューし承認する。
		SSM	活動5： 文書化され承認された外注先のソフトウェア開発計画を用いて、ソフトウェア活動の進捗を確認し、状況を伝達する。	4)文書化され承認された外注先のソフトウェア開発計画を用いて、ソフトウェア活動の進捗を確認し、状況を伝達する。
供給者及び購買した製品に対する管理の方式と程度は、購買製品が、その後の製品実現のプロセス又は最終製品に及ぼす影響に応じて定めること。		SSM	活動7： 発注元の管理層は、外注先の管理層とともに定期的な状況/調整レビューを開催する。	供給者及び購買した製品に対する管理の方式と程度は、購買製品が、その後の製品実現のプロセス又は最終製品に及ぼす影響に応じて定めること。
		SSM	活動8： ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。	管理においては次のことを実施する。
		SSM	活動9： 外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催する。	1)発注元の管理層は、外注先の管理層とともに定期的な状況/調整レビューを開催する。 2)ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。 3)外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催する。
		SSM	活動10： 発注元のソフトウェア品質保証グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア品質保証の活動をモニターする。	4)発注元のソフトウェア品質保証グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア品質保証の活動をモニターする。
		SSM	活動11： 発注元のソフトウェア構成管理グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア構成管理活動をモニターする。	5)発注元のソフトウェア構成管理グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア構成管理活動をモニターする。
組織は、供給者が組織の要求事項にしたがって製品を供給する能力を判断の根拠として、供給者を評価し、選定すること。		SSM	活動2： ソフトウェア外注先は、外注契約入札者の作業実施能力に関する評価を基盤とし、文書化された手順に従って選定する。	組織は、供給者が組織の要求事項にしたがって製品を供給する能力を判断の根拠として、供給者を評価し、選定すること。ソフトウェア外注先は、外注契約入札者の作業実施能力に関する評価を基盤とし、文書化された手順に従って選定する。
選定、評価及び再評価の基準を定めること。評価の結果の記録及び評価によって必要とされた処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。		SSM	活動13： ソフトウェア外注先の実績を定期的に評価し、評価結果は外注先とともにレビューする。	選定、評価及び再評価の基準を定めること。評価の結果の記録及び評価によって必要とされた処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。ソフトウェア外注先の実績は定期的に評価し、評価結果は外注先とともにレビューする。
7.4.2 購買情報				
購買情報では、購買製品に関する情報を明確にし、必要な場合には、次の事項のうち該当する事項を含めること。		SSM	活動3： 発注元とソフトウェア外注先との間の契約合意を、外注管理の基盤とする。	購買情報では、購買製品に関する情報を明確にし、必要な場合には、次の事項a), b), c)のうち該当する事項を含めること。なお、発注元とソフトウェア外注先との間の契約合意を、外注管理の基盤とし、ソフトウェア外注先の作業内容記述書、外注契約条項、およびその他のコミットメントに関する変更は、文書化された手順に従って解決する。
		SSM	活動6： ソフトウェア外注先の作業内容記述書、外注契約条項、およびその他のコミットメントに関する変更は、文書化された手順に従って解決する。	
a) 製品、手順、プロセス及び設備の承認に関する要求事項				a) 製品、手順、プロセス及び設備の承認に関する要求事項
b) 要員の適格性確認に関する要求事項				b) 要員の適格性確認に関する要求事項
c) 品質マネジメントシステムに関する要求事項				c) 品質マネジメントシステムに関する要求事項
組織は、供給者に伝達する前に、規程した購買要求事項が妥当であることを確実にすること。		SSM	活動1： 外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。	組織は、供給者に伝達する前に、規程した購買要求事項が妥当であることを確実にすること。そのためには、外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。
7.4.3 購買製品の検証				
組織は、購買製品が、規程した購買要求事項を満たしていることを確実にするために、必要な検査又はその他の活動を定めて、実施すること。		SSM	活動12： 発注元は、外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。	組織は、購買製品が、規程した購買要求事項を満たしていることを確実にするために、必要な検査又はその他の活動を定めて、実施すること。 発注元は、外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。
		SSM	活動13： ソフトウェア外注先の実績を定期的に評価し、評価結果は外注先とともにレビューする。	ソフトウェア外注先の実績を定期的に評価し、評価結果は外注先とともにレビューする。
組織又はその顧客が、供給者先で検証を実施することにした場合には、組織は、その検証の要領及び購買製品のリリース（出荷許可）の方法を購買情報の中に明記すること。				組織又はその顧客が、供給者先で検証を実施することにした場合には、組織は、その検証の要領及び購買製品のリリース（出荷許可）の方法を購買情報の中に明記すること。
7.5.3 識別及びトレーサビリティ				
必要な場合には、組織は、製品実現の全過程において適切な手段で製品を識別すること。		SCM	活動1： SCM計画は、文書化された手順にしたがってソフトウェアプロジェクト個別に作成する。	必要な場合には、組織は、製品実現の全過程において適切な手段で製品を識別すること。そのために次のことを行う。 1) SCM計画は、文書化された手順にしたがってソフトウェアプロジェクト個別に作成する。
		SCM	活動2： 文書化され承認されたSCM計画を、SCM活動実施の基盤として使用する。	2) 文書化され承認されたSCM計画を、SCM活動実施の基盤として使用する。
		SCM	活動3： ソフトウェアベースラインのリポジトリとして、構成管理ライブラリシステムを構築する。	3) ソフトウェアベースラインのリポジトリとして、構成管理ライブラリシステムを構築する。このライブラリシステムは次のような機能を持つ。 (1) SCMの複数の制御レベルを支援する。 (2) 構成アイテム/ユニットの格納と取り出しの機能を提供する。 (3) 影響を受けるグループ間やライブラリ内の異なる制御レベル間で、構成アイテム/ユニットの共有と転送機能を提供する。 (4) 構成アイテム/ユニットに対し、成果物標準の使用を助ける。 (5) 構成アイテム/ユニットの保管されたバージョンに対し、格納と復旧機能を提供する。 (6) ソフトウェアベースラインライブラリから、正しい成果物を確実に生成することを助ける。 (7) SCM記録の格納、更新、および取り出しの機能を提供する。 (8) SCMレポートの作成を支援する。 (9) ライブラリの構造と内容の保守機能を提供する。
		SCM	活動4： 構成管理下におくべきソフトウェア作業成果物を特定する。	4) 構成管理下におくべきソフトウェア作業成果物を特定する。

# 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
		SCM	活動 7 : 文書化された手順に従って、ソフトウェアベースライブラリから成果物を生成し、それらのリリースを制御する。	5) 文書化された手順に従って、ソフトウェアベースラインライブラリから成果物を生成し、それらのリリースを制御する。
		SCM	活動 8 : 構成アイテム/ユニットの状況は、文書化された手順に従って記録する。	6) 構成アイテム/ユニットの状況は、文書化された手順に従って記録する。
		SCM	活動 9 : SCM活動およびソフトウェアベースラインの内容に関する標準報告書を作成し、影響を受けるグループと個人に利用可能とする。	7) SCM活動およびソフトウェアベースラインの内容に関する標準報告書を作成し、影響を受けるグループと個人に利用可能とする。
組織は、監視及び測定の実施事項に関連して、製品の状態を識別すること。				組織は、監視及び測定の実施事項に関連して、製品の状態を識別すること。
トレーサビリティが要求事項となっている場合には、組織は、製品について固有の識別を管理し、記録すること(4.2.4参照)。				トレーサビリティが要求事項となっている場合には、組織は、製品について固有の識別を管理し、記録すること。(4.2.4参照)。
参考 ある産業分野では、構成管理が識別及びトレーサビリティを維持する手段である。				参考 ある産業分野では、構成管理が識別及びトレーサビリティを維持する手段である。
8.2.2 内部監査				
組織は、品質マネジメントシステムの次の事項が満たされているか否かを明確にするために、あらかじめ定められた間隔で内部監査を実施すること。	○	SSM	活動 1 0 : 発注元のソフトウェア品質保証グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア品質保証の活動をモニタする。	組織は、品質マネジメントシステムの次の事項が満たされているか否かを明確にするために、あらかじめ定められた間隔で内部監査を実施すること。
	○	SSM	活動 1 1 : プロジェクトには、SQAの調整と履行に責任を持つグループ(SQAグループ)が存在する。	その活動の1つとして、発注元のソフトウェア品質保証/構成管理グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア品質保証/構成管理の活動をモニタする。
		SQA	能力 1 : プロジェクトには、SQAの調整と履行に責任を持つグループ(SQAグループ)が存在する。	プロジェクトには、SQAの調整と履行に責任を持つグループ(SQAグループ)が存在し、文書化された手順に従ってSQA計画の策定をし、SQA計画に従い実施及びソフトウェアエンジニアリング活動のレビューと、指定されたソフトウェア作業成果物を監査をし、その遵守状況を検証する。
		SQA	活動 1 : ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成する。	
		SQA	活動 2 : SQAグループの活動は、SQA計画に従って実施する。	ソフトウェアベースライン監査は、文書化された手順に従って実施する。
		SQA	活動 4 : SQAグループは、ソフトウェアエンジニアリング活動をレビューし、その遵守状況を検証する。	
		SQA	活動 5 : SQAグループは、指定されたソフトウェア作業成果物を監査し、その遵守状況を検証する。	
		SCM	活動 1 0 : ソフトウェアベースライン監査は、文書化された手順に従って実施する。	
a) 品質マネジメントシステムが、個別製品の実現の計画(7.1参照)に適合しているか、この規格の要求事項に適合しているか、及び組織が決めた品質マネジメントシステム要求事項に適合しているか。				a) 品質マネジメントシステムが、個別製品の実現の計画(7.1参照)に適合しているか、この規格の要求事項に適合しているか、及び組織が決めた品質マネジメントシステム要求事項に適合しているか。
b) 品質マネジメントシステムが効果的に実施され、維持されているか。				b) 品質マネジメントシステムが効果的に実施され、維持されているか。
組織は、監査の対象となるプロセス及び領域の状態と重要性、並びにこれまでの監査結果を考慮して、監査プログラムを策定すること。				組織は、監査の対象となるプロセス及び領域の状態と重要性、並びにこれまでの監査結果を考慮して、監査プログラムを策定すること。
監査の基準、範囲、頻度及び方法を規定すること。				監査の基準、範囲、頻度及び方法を規定すること。
監査員の選定及び監査の実施においては、監査プロセスの客観性及び公平性を確保すること。監査員は自らの仕事は監査しないこと。				監査員の選定及び監査の実施においては、監査プロセスの客観性及び公平性を確保すること。監査員は自らの仕事は監査しないこと。
監査の計画及び実施、結果の報告、記録の維持(4.2.4参照)に関する責任、並びに要求事項を“文書化された手順”の中で規定すること。		SQA	活動 7 : ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱う。	監査の計画及び実施、結果の報告記録の維持(4.2.4参照)に関する責任、ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項並びに要求事項を“文書化された手順”の中で規定すること。
監査された領域に責任をもつ管理者は、発見された不適合及びその原因を除去するため遅滞なく処置がとられることを確実にすること。				監査された領域に責任をもつ管理者は、発見された不適合及びその原因を除去するため遅滞なく処置がとられることを確実にすること。
フォローアップには、とられた処置の検証及び検証結果の報告を含めること(8.5.2参照)。		SQA	活動 6 : SQAグループは、ソフトウェアエンジニアリンググループに対し、定期的にその活動結果を報告する。	フォローアップには、とられた処置の検証及び検証結果の報告を含めること(8.5.2参照)。  SQAグループは、ソフトウェアエンジニアリンググループに対し、定期的にその活動結果を報告する。
参考 JIS Z 9911-1(品質システムの監査の指針 - 第1部: 監査)、JIS Z 9911-2(品質システムの監査の指針 - 第2部: 品質システム監査員の資格基準)及びJIS Z 9911-3(品質システム監査の指針 - 第3部: 監査プログラムの管理)を参照。				
8.2.3 プロセスの監視及び測定				
組織は、品質マネジメントシステムのプロセスを適切な方法で監視し、適用可能な場合には、測定をすること。		SPP	活動 1 5 : ソフトウェア計画策定に関するデータを記録する。	組織は、品質マネジメントシステムのプロセスを適切な方法で監視し、次の項目について適用可能な場合には、測定をすること。
		SPP	計測 1 : 計画を行い、その結果を使用して、ソフトウェア計画策定の活動状況を判断する。	1) ソフトウェア計画策定に関するデータを記録し、ソフトウェア計画策定の活動状況を判断する。測定する項目は例えば次のとおり。 ・ソフトウェアプロジェクト計画活動のマイルストーンの完了で、計画と比較したもの
		SPT0	活動 1 1 : ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録する。	2) ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録し、ソフトウェア進捗管理の活動状況を判断する。測定する項目は例えば次のとおり。 ・進捗管理活動の実施に費やされた工数とその他の資源 ・ソフトウェア開発計画書の変更活動で、その内訳は、ソフトウェア作業成果物の規模見積、ソフトウェアコスト見積、重要なコンピュータ資源の見積、およびスケジュールに対するそれぞれの変更
		SPT0	計測 1 : 計画を行い、その結果を使用して、ソフトウェア進捗管理の活動状況を判断する。	3) ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録し、ソフトウェア外注管理の活動状況を判断する。測定する項目は例えば次のとおり。 ・外注管理活動のためのコストで、計画と比較したもの ・外注成果物の実際の納入日で、計画と比較したもの ・発注元から外注先への実際の納入日で、計画と比較したもの

## 付表-3 MIS09001

ISO要求事項	整合	KPA	キープラクティス	MIS09001
		SSM	計測 1： 計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア外注管理の活動状況を判断する。	4)ソフトウェアプロジェクトの進捗状況の実計測データと再計画データを記録し、SOA活動のコストやスケジュール状況を判断する。測定する項目は例えば次のとおり。 ・SOA活動に関するマイルストーン完了状況で、計画と比較したもの ・SOA活動における完了した作業、費やした工数、および費やしたコストで、計画と比較したもの ・成果物監査や活動レビューの数で、計画と比較したもの
		SOA	計測 1： 計測を行い、その結果を使用して、SOA活動のコストやスケジュール状況を判断する。	5)ソフトウェアプロジェクトの進捗状況の実計測データと再計画データを記録し、SCMの活動状況を判断する。測定する項目は例えば次のとおり。 ・単位時間に処理された変更要求の数 ・SCM活動に関するマイルストーン完了状況で、計画と比較したもの ・SOA活動における完了した作業、費やした工数、および費やしたコストで、計画と比較したもの
		SCM	計測 1： 計測を行い、その結果を使用して、SCMの活動状況を判断する。  ・単位時間に処理された変更要求の数 ・SCM活動に関するマイルストーン完了状況で、計画と比較したもの ・SOA活動における完了した作業、費やした工数、および費やしたコストで、計画と比較したもの	
これらの方法は、プロセスが計画どおりの結果を達成する能力があることを実証するものであること。				これらの方法は、プロセスが計画どおりの結果を達成する能力があることを実証するものであること。
計画どおりの結果が達成できない場合には、製品の適合性の保証のために、適宜、修正及び是正処置をとること。				計画どおりの結果が達成できない場合には、製品の適合性の保証のために、適宜、修正及び是正処置をとること。
<b>8.2.4 製品の監視及び測定</b>				
組織は、製品要求事項が満たされていることを検証するために、製品の特性を監視し、測定すること。		SPT0	活動 1 1： ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録する。	組織は、製品要求事項が満たされていることを検証するために、製品の特性を監視し、測定すること。次の項目を含むこと。 ・ソフトウェアプロジェクトの実計測データの内、製品の特性に関わるデータを測定する。 ・外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。
		SSM	活動 1 2： 発注元は、外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。	
監視及び測定は、個別製品の実現の計画（7.1参照）に従って、製品実現の適切な段階で実施すること。				監視及び測定は、個別製品の実現の計画（7.1参照）に従って、製品実現の適切な段階で実施すること。
合否判定基準への適合の証拠を維持すること。記録には、製品のリリース（次工程への引渡し又は出荷）を正式に許可した人を明記すること（4.2.4参照）。				合否判定基準への適合の証拠を維持すること。記録には、製品のリリース（次工程への引渡し又は出荷）を正式に許可した人を明記すること（4.2.4参照）。
個別製品の実現の計画（7.1参照）で決めたことが問題なく完了するまでは、製品のリリース（出荷）及びサービス提供は行わないこと。				個別製品の実現の計画（7.1参照）で決めたことが問題なく完了するまでは、製品のリリース（出荷）及びサービス提供は行わないこと。
ただし、当該の権限をもつ者が承認したとき、及び該当する場合に顧客が承認したときは、この限りではない。				ただし、当該の権限をもつ者が承認したとき、及び該当場合に顧客が承認したときは、この限りではない。